

## 1 単元 武家政権の成立と鎌倉文化

## 2 単元の目標

- (1) 中世国家の成立と社会や文化の特色に対する関心を高め課題意識を深めようとする。
- (2) 武家政権の成立や社会の仕組みについて、その成立の背景から課題を見出し、東アジア世界の動向を関連付けて多面的・多角的に考察し、過程や結果を適切に表現することができる。
- (3) 鎌倉文化の特色とその成立の背景についての基本的な事柄を、社会の動きと東アジア世界の動向とを関連付けて理解することができる。

## 3 単元の評価規準

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	資料活用の技能	知識・理解
中世国家の成立と社会や文化の特色に対して興味・関心を持ち、意欲的に探究している。	中世国家の成立と社会や文化の特色を、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を説明することができる。	中世国家の成立と社会や文化の特色を、諸資料を活用しながら図表などにまとめることができる。	中世国家の成立と社会や文化の知識を身に付け、その特色を理解することができる。

## 4 単元の指導について

本単元は、高等学校学習指導要領解説地理歴史編（平成22年6月）日本史Bの内容（2）イ「中世国家の形成」に基づいて設定されている。ここでは、主に鎌倉時代を扱う。武家政権の定着と鎌倉文化の特色について扱うことで、中世がどのような時代であったかを、東アジア世界の動向と関連付けて総合的に考察させることをねらいとする。

（省略）

指導にあたっては、各班に1台、資料用タブレットと、調査・検索性の個人タブレットを配付し、提示された資料をもとにグループで協議し、全体に発表することで、生徒が主体的に学び合う授業を目指したいと考える。また、外部人材の協力を得て、ICTを活用した効果的な授業の展開を図りたい。

## 5 指導計画(12時間)

時	学習内容・活動	関	思	技	知	観点別評価規準
1 2	平氏政権の武家的・貴族的性格の両面性と、それが短命だった理由を考える。	○			○	平氏政権の概要を理解し、短命政権だった理由を説明できる。
3 4	北条氏の台頭と承久の乱を通じ、乱後の幕府権力の浸透を考える。	○			○	北条氏台頭の概要を理解し、幕府支配の全国化を自分の言葉で表現できる。
5(本時) 6	諸資料を活用して鎌倉新仏教について調べ、全体に発表して学びあう。	○	○	○		諸資料をもとに鎌倉新仏教を考察し、その特色と流行の理由を説明できる。
7 8	鎌倉文化における絵画や彫刻の写実性と、文学作品の文学史的意味を調べる。	○			○	鎌倉文化の芸術作品の特徴と、和漢混交文定着の過程を説明できる。
9 10	元寇の概要を理解し、事後に鎌倉幕府が急速に衰退した理由を考える。	○	○			元寇の概要を理解し、事後に鎌倉幕府が衰退する理由を説明できる。
11 12	元寇後から鎌倉幕府滅亡に至る過程と、朝廷と幕府の関係性を調べる。	○			○	得宗専制政治と御家人の窮乏が幕府衰退の原因であると説明できる。

6 本時の指導

(1) 目標

鎌倉新仏教の各宗派に関する諸資料をグループ内で分析・検討することで各宗派の特色を考察し、その内容を他者に説明する。

(2) 準備・資料

教科書，資料集

鈴鹿文庫「一向専修念仏編」，法然上人絵伝，歎異抄，西念寺御朱印，一遍上人絵伝

一遍遊行地図，日蓮宗本尊，四箇格言，鎌倉市内臨済宗寺院地図，隻手音声

鎌倉市内曹洞宗寺院地図，座禅写真，ワークシート，タブレット，電子黒板機能付プロジェクター

(3) 展開

学 習 内 容		学 習 活 動	配当 時間	指導上の留意点
導 入	本時の学習課題を確認する。  鎌倉新仏教各宗派の特色は何だろうか？	鎌倉時代に新しい仏教宗派が六つも誕生したことの説明を聞き，学習課題を把握する。 班(5人1班，1班のみ4人)を形成し，代表者一人が教卓でくじ引きし，担当宗派を決定し，各班の生徒に担当する宗派を伝える。	10	冒頭の説明時は，全員を黒板に注目できるように，スライドを用いて説明する。 代表生徒のタブレットに担当宗派の資料を送信する。
展 開	タブレットを起動し，学習資料を分析する。  資料の検討では，一人一人に1台ずつ配付されたインターネット検索用のタブレットを活用し，各々で調べる。  全体発表をする。	各タブレットに保存されている，各宗派の諸資料についてグループ毎に分析し，その宗派の特徴や布教の状況を考察する。  浄土宗…鈴鹿文庫「一向専修念仏編」 法然上人絵伝 浄土真宗…歎異抄，西念寺御朱印 時宗…一遍上人絵伝，一遍遊行地図 日蓮宗…日蓮宗本尊，四箇格言 臨済宗…鎌倉市内臨済宗寺院地図，隻手音声 曹洞宗…鎌倉市内曹洞宗寺院地図，座禅写真 調査終了後は，指導者用タブレットに調査結果を送信する。 各班2分を持ち時間とし，調査の結果や分かったことを全体に発表する。 発表者は各班代表一人とし，教卓で指導者用タブレットを操作し，口頭で説明する。  発表者以外の生徒は，課題ワークシートに発表内容をまとめる。  本時のまとめ 鎌倉新仏教は，各宗派とも実践が簡単で，誰でも取り組みやすいことが特徴だった。	35	タブレットの操作時に不具合が生じた場合は，ICT支援員の協力を得て，適宜対応する。 学習資料は教科書や資料集に載っていないものもあるため，行き詰っている班は，タブレットに保存されている内容を振り返るよう助言する。  発表後に補足説明が必要な場合は，指導者が適宜行うことを伝える。  ◎鎌倉新仏教の各宗派に関する諸資料をグループ内で分析・検討することで各宗派の特色を考察し，その内容を他者に説明できたか。 (ワークシート・発表)
ま と め	本時の内容を振り返り，自己評価をする。	本時の学習について，印象に残った事項を一つ以上，自分の言葉で記入する。また，課題ワークシートで自己評価を行う。	5	主体的に取り組めたかどうかを判断させるため，A・B・C評価を行うことを助言する。
評 価	グループワークで，班の仲間と協力して意見をまとめることができる。(関心・意欲・態度) 設定課題に対し，根拠を示しつつ論理的に解答を示すことができる。(思考・判断・表現) 資料を分析し，各宗派の特色を考察することができる。(資料活用の技能) 中世の政治や社会，文化の知識を身に付け，その特色を理解することができる。(知識・理解)			